

会報

ハ乙女

祝 南砺市二十歳の集い

おめでとうございます



新春を迎えて

南砺市議会議員 才川昌一

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、正月早々から能登半島大震災や豪雨災害・井波での大火災などが起こり、大きな被害が直撃する年でありました。しかし、今年は正月から好天に恵まれ、高瀬神社へもたくさんの方々が訪れるなど、誰もが今年一年が穏やかな年にならんことを願っておられることだと思います。

昨年十一月に執行された市議会議員選挙におきまして、無投票でありましたが市議会議員として六度目の当選をさせていただきました。地域の皆様方から温かいご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。市政の発展・地域の課題解決に向けて真摯に取り組み、研鑽を重ねていきたいと思っております。

さて、市においてはまだまだ歯止めが効かない人口減少や公立病院の改革・公共交通の充実など、また、井波地域においては旧庁舎跡地利用やそれに伴う市民センターの移設・東洋紡の工場跡地の有効利用など、まだまだ課題は山積しております。

しかし、今年はそれぞれの課題に向けて、人口減少対策には後期総合計画の聖域なき施策・公立病院の改革には病院改革ビジョンの履行・公共交通の充実にはモビリティサービスの推進や公共ライドシェアなどの導入・井波全体を俯瞰したビジョンづくりなど、将来につながる計画を創り上げていくことが求められており、それらの計画を実現させていきたいと思っております。

市民の皆様が南砺市に住み続けたいと思える地域づくりの実現に向けて、これからも努力していきたいと思っております。これまでと変わらぬご指示ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に地域の発展と地域住民の皆様にとって幸多からんことをご祈念申し上げます。

巳年の 新年を迎えて



頑張りたいこと



亀田 蒼大
(平成25年生)

ぼくは、今年の四月に小学校の最高学年になります。最高学年として頑張りたいことが三つあります。

一つ目はサッカーです。いろんな大会で、ディフェンスとして、相手のボールをうばいたいです。

二つ目は勉強です。得意ではない漢字を六年生で克服したいです。

三つ目は学校行事です。小学校最後の運動会で総合優勝すること、学習発表会での劇を完ぺきにやりこなすことです。

以上、三つの目標を最高学年として頑張りたいです。



荒井 さく那
(平成25年生)

今年頑張ることは二つあります。

一つ目は「六年生として頑張ること」です。私が一年生の時に、「六年

生が教室を教えてください、一緒に遊んでくれたりしてうれしかった記憶があります。だから、私も新しく入ってくる一年生が早く学校になじんで、学校は楽しいところだということを教えてください。また、勉強も頑張りたいです。苦手な教科が多いので、苦手な教科を好きな教科に変えられるように、頑張りたいです。

二つ目は「陸上を頑張ること」です。私は四年生のころから陸上競技をやっています。五年生の途中までは、サッカースポーツ少年団と陸上クラブと両方やっていましたが、去年の秋に陸上競技に専念することにしました。陸上の大会や記録会・練習会には進んで行くようにしています。今年の目標は、自己ベストを出して県大会で優勝することです。今年はこの二つの頑張ることを達成できるような年にしたいです。

新年を迎えて



瀧田 望由
(平成13年生)

今年で二回目の年女を迎え、日々周りの方々に支えてもらっているおかげで今の自分があると感じています。

仕事においては、四月で社会人三年目の年になります。まだまだ知識

不足や経験不足な部分があります。周りの先輩方や上司、地域の方々に助けていただきながら、少しでも力になれるよう業務に取り組んでいきたいです。仕事以外においては、趣味を楽しみつつ、いろんなことに挑戦していきたいと考えています。

何事にも前向きに取り組み、周りの助けも借りながら、充実した一年となるよう過ごしていきたいです。

新年を迎えて



前川 陸
(平成13年生)

現在は大学を卒業し、社会人として石川県の建設会社で施工管理をしています。

一年目ということもあり、毎日先輩社員や職人さんに分からないことを教えてもらいながら働いています。

四月からは二年目になるので、先輩社員に聞いてから行動するのではなく、自分自身で考えて予測して主体的に動いていきたいです。

そして、将来的には大きな商業施設を一人で任せても

らせる施工管理技士を目指して、これからも毎日頑張っていきたいです。



新年を迎えて



田村 大輔
(平成元年生)

ついこの前に年男を迎えたばかりだと思っていました。あつという間に三度目の年男を迎えました。前回の年男から十二年が経ったという事実、時の流れの早さに驚きと若干の切なさを感じています。しかし思い起こせば、この十二年の間に様々な変化がありました。

大きなところで言えば結婚をし、子供が生まれて父になる。地域の子供たちにバスケットボールを教える指導者となる。これに加えて保育教諭としての経験を重ねていくなど仕事や家庭、そして地域での責任や役割が増えてきました。

これから責任というものが増えてくると思いますが、それすらも楽しみ、常に新しい挑戦を続けていきたいです。

新しい年を迎えて



前田 洋一
(昭和52年生)

四度目の巳年を迎え、時の経つのは早いと感じるこの頃です。コロナや地震等いろんな事がありました

が、子供が健康で健やかに成長している姿に、ありがたい思いで妻や家族と見守っています。

これからも、いろいろな社会の変化があるかも知れませんが、心穏やかに過ごせるように、健康に気を付けて、無事に五度目の巳年を迎えられるように過ごしていきたいです。

「巳年をむかえて」



小橋 清 敦
(昭和52年生)

早いもので四回目の巳年を迎えることができました。これまでを振り返ると、地域の皆様をはじめ、周りの方々に支えられてきたことを実感します。

昨年の地震の影響もあり、地域の皆様のお力になればと思い、仕事に追われて忙しい日々を送っております。しかし、仕事に邁進できるのも、家族の支えあってこそと感謝しています。

年々、月日が流れる速さが増すのを実感しておりますが、家庭・地域・職場を大切にしながら、健康に気を付けていきたいと思



還暦を迎えて



山本 美穂
(昭和40年生)

早いもので、気が付けば還暦を迎えます。ここまで大きな病気やケガもせず過ごせてくれたことに感謝しています。

孫は一歳を過ぎ、保育園の送迎を家族で分担しながら行っております。世話が大変ですが元気に育っています。孫のしぐさや笑顔を見ると、日々の成長や世話をすることに喜びを感じています。

現在、スーパーの弁当・寿司の総菜商品を製造する仕事に携わっていますが、もう少し頑張ってみようと思っています。

新年を迎えて



長田 晴樹
(昭和28年生)

巳年の今年七十二歳になります。ふるさと南山見にUターン（転勤族で長らく旅の人でした）して二十年になります。改めてこの地の温もり、人情味を感じています。昨年発刊された『次代につなぐ郷土誌南山見』を眺めて、とりわけ小学校時代（私は栄えある南山見小学校の卒業生です）が、懐かしく思い返されます。

過去・現在・未来、そして人生百年時代の今日、まだまだこれから人生の旅は続きます。健康第一、「明るく・楽しく・元気に」暮らせたいと思います。コロナや震災のな

地域の方々に守られて



江守 美郷
(昭和28年生)

私も？十歳となり真正銘立派な高齢者になりました。

そんな私に昨年、町内会長の順番が回ってきました。何も知らないわからない私に務まるの？でも、きた以上はやらねばならぬ！等々考えてはみたものの心配不安でいっぱいスタートでした。そのうちに色々な会合やイベントに参加していきまし

た。その都度大勢の地域の方々が、黙々と活動をされているのを目の当りにしました。私が今まで何も考えず何もせず、のうのうと安楽に過ごして来られたのは、この地域の方々のおかげだったんだ。衝撃でした。頭の下がる思いでした。

今、私は一年の役員を通して、地域の事世の中の事が少しでもわかって本当に良かったなあという喜びとともに、とても穏やかな心で巳年の新年を迎えております。

我が人生ここに



前川 豊 朔
(昭和16年生)

私は戦前の昭和十六年生まれで、七回目の巳年を迎える。

小さい頃、馬の背のような形で穴だらけになっていた道を歩いて小学校に通ったことを思い出す。中学校へは、冬は朝六時半に家を出なければならず、とてもよく歩いたので、私をはじめ院瀨見の子供は力強かった。

私の家には、昔田んぼが全部で約一町歩あった。小さい田んぼが四十枚ほどであった。今は、三反田んぼ二枚あるが、小さい田んぼ二枚は自宅と畑になった。時代が変わり、田んぼはファーム八乙女に預け、草刈りや水管理等を少々するだけで、主に畑仕事に精を出している。

東洋紡には約四十年間勤めた。ほとんどは井波工場だったが、庄川工場、呉羽、入善等富山県内は当たり前で、大阪や四国へも行った。

趣味で始めたカメラやビデオを撮るために、いろんな地区を歩いたの

五年ぶりに酒席あり 「新年の集い」が開催できました

まちづくり部会長 山本義秀



一月五日、才川市議会議員、マーシ園の豊川理事長をお迎えし、区長、町内会長、地域づくり協議会役員の方々が参集し「新年の集い」を開催しました。田中事務局長の進行により、初めに確井会長の挨拶がありました。令和元年度から取り組んだ『次代につなぐ郷土誌 南山見』を三月に発刊できたこと。三大事業は、工夫を重ねて実行できたこと。コロナ禍の中で六年間を振り返ってみると、高齢化、人口減少、農地山林の維持管理等、地区の諸課題に工夫しながら色々改善を図ってきたこと。また、地域づくり協議会井波連合会を通じて地域の問題解決にも関わってきたこと等の報告がありました。

才川市議会議員の挨拶では、昨年は災害の多い年であった。人口減少、二つの市立病院の在り方、東洋紡跡地の再利用等、市の課題に向けた方向付けを決めていく年になるよう取り組んでいく決意を表されました。

マーシ園の豊川理事長からは、八乙女新築移転工事の進捗報告があり、今年十月頃には移転する予定とのことでした。

続いて、恒例の詩吟吟詠に前田由美子さんが、新年にふさわしい「新しき」と、めでたい「松竹梅」を吟詠されました。その後は、和気あいあいとお酒と料理を美味しく頂きました。

昨年は、能登半島地震により急遽中止になりましたが、本年は心穏やかに新年を迎えることができ、五年ぶりに酒席を設け新年の集いを開催できたことは、大変ありがたいことだと素直に感謝しています。



歳末見舞い訪問

南山見社会福祉協議会副会長
井上 智子

歳の瀬も近い12月7日、地区社会福祉協議会が連綿と継続した行事「歳末見舞い」を行いました。

75歳以上の一人暮らしの方と80歳以上の高齢者133名の方を、地区理事、地域福祉推進員が、お昼に間に合うよう、赤飯と粗品それに励ましの手紙を添えて訪問しました。自宅の管理は勿論、サロンや地区の行事に参加されている元気な様子を見聞きました。しかしながら、昨今の高齢化と若者の減少は当地区においても進んでおり、80歳以上の高齢者のみの世帯と一人暮らしの方が増えてきています。これからの課題と思われま。

この訪問は地区の現状を肌で感じる大事な行事であり、今後も継続してほしいものです。当日お忙しい中ご協力いただきました皆様にお礼申し上げます。



成壮年部研修会

成壮年部会長 須川 大

成年部と壮年部が統合され3年が経過。地域の中核を担う「成壮年部」は、幅広い年齢層で構成、地域活動に日々取り組んでいます。日頃から「タテヨコ」の人間関係づくりは当地域では大事なことであり、今回の研修会も成壮年層を交えた絶好の懇親の場となりました。

研修会（※本来の目的は研修会終了後の飲み会ですが・・・）は10月20日（日）に実施。参加者11名が高岡市の有名鋳物メーカー『能作』を訪ね、鋳物制作体験（90分完全予約制）をしました。当日の駐車場は、ほぼ県外ナンバーで満車状態。『能作』の県内外の人気ぶりを実感しました。

体験では、砂を使って鋳型といわれる型を制作、鍋で溶かしたドロドロの錫（すず）を鋳型に流し込み、数分後に取り出すとほんのり温かい「ぐい呑」の塊ができました。最後に刻印を打ち、世界に一つだけの「ぐい呑」が完成。

研修後の反省会会場には4名が追加合流、総勢15名で親睦を図りました。各々持ち帰った自分だけのオリジナル「ぐい呑」で酒を酌み交わしながら、今後の南山見地域の行く末を語りました。

最後に…。皆様には是非一度、錫製品の制作体験をしてみても如何でしょうか？



第47回 八乙女文化祭

～地域の輪(和)を広げ深めた1日～

学習・スポーツ副会長 富田利通

今回は市長・市議会議員選挙と重なり、当初の予定より2週間遅れの11月24日(日)に開催しました。月初めより天候がすぐれず、雨風と寒さを心配しましたが、文化祭当日は小春日和となり、早朝より大勢の住民の皆様にご来場いただきました。

開会式後に「米寿のお祝い」が行われ、続くオープニングステージでは「五箇山深山会」による五箇山民謡が披露され、麦屋節やといちんさなど馴染みの唄と踊りで、お祝いムードを盛り上げていただきました。

11時からはステージ発表、各種団体の模擬店や食堂、コーナーがオープン。ステージ発表では、井波にじいる保育園の園児らによる「TKG体操」や、子ども民謡教室の児童らによる「舞子はん」が披露され、その元気で可愛らしいしぐさに会場は華やぎ、大きな拍手が送られました。その後、詩吟、民謡、大正琴、舞踊、手品等、10の個人・グループの舞台が続き、日頃の練習の成果を十分に発表していただきました。各種団体の模擬店や食堂では、焼きそば・もつ煮、おはぎや赤飯、シュークリーム、ビールやコーヒー、うどん等、様々な品が用意され、また、食生活改善グループによる健康食の試食、地区社会福祉協議会による健康チェック、お茶席の点前等、中身の濃いコーナーも設けられ、賑わいとともに来場された皆さんの和やかな語り・交流の場となりました。



会議室・大ホールでは、各種団体の活動報告に加え、絵画、書道・絵手紙、手工芸、写真、園芸等、多彩な作品が展示され、また、季節の農産物展示も行われ、品評会では金賞5点が選ばれました。いずれの作品・農産物も制作者や生産者それぞれの工夫と情熱がうかがわれ、鑑賞された多くの方々からは感嘆の声が聞かれました。展示作品数は菊も含めて74点、農産物は27点。出品者の皆様には深く御礼申し上げます。エントランスでは「野菜の重さ当てクイズ」も行われ、入賞者には豪華賞品をお贈りしました。

あっという間に15時を迎え文化祭も無事終了。お陰様で約300名の来場者がありました。新型コロナ・新春の大地震と続く中であって、改めて地域住民の結束の強さを確認し、その輪(和)をさらに広げ深めた1日となりました。

終わりに、準備から運営・片付けに至るまでご協力いただいた実行委員、各種団体、町内会等、多くの皆様には、心より感謝申し上げます。

農産物品評会 金賞受賞者の皆さん

ねぎ	川原 彦市 様
白菜	直江 稔 様
小豆	佐藤 芳子 様
大根	亀田 清美 様
柚子	直江 稔 様

令和6年 米寿祝 米寿のみなさん おめでとうございます

山本 幸雄 様	(谷)
谷田美知子 様	(谷)
高戸 収次 様	(戸板)
池田きみ子 様	(戸板)
園 東右 様	(南山見新)
富田ミユキ 様	(沖)



六名に南山見地域づくり協議会の確井会長から、南砺市からのお祝い状が贈呈されました。来賓として才川市議会議員、マーシ園の豊川園長様から祝辞をいただきました。式の後オープニングとして、「五箇山深山会」の方々から五箇山民謡の踊りと歌を披露していただき、本場の素晴らしい舞台に心を奪われました。中でも印象深かったのは、「お小夜節」のいわれを聞き、能登と五箇山との間に深いつながりがあり、今でも交流が続いているという話で感動しました。社会福祉協議会として、赤飯・生菓子・おはぎ等を販売しましたが、完売し皆さんに喜んで頂きました。昨今、人とのつながりがだんだんと薄くなっていると叫ばれていますが、今後も老人の方々に敬意、皆が共に仲良く暮らしていくよう、この敬老の集いが長く続くよう願っています。



昨年十一月二十四日「第三十三回敬老の集い」を八乙女文化祭と合わせて開催いたしました。この行事は、この度発行された「次代につなぐ 郷土誌南山見」により、南山見社会福祉協議会が昭和六十二年(一九八七年)に設立され、その四年後の平成三年(一九九一年)から行われております。今回の敬老の集いでは、七十五歳以上の方々二三名(地区四人に一人の割合)を招待しましたが、そのうち六十四名が出席されました。そして米寿の方

敬老の集い・米寿の祝いの

健康・福祉副会長 朝倉 喜八郎

南山見地区防災訓練

安全・防災副部長

篠原正之

去る十月二十日(日)、南山見地区防災訓練を開催しました。令和六年一月一日午後四時十分頃、石川県能登地方を震源とする最大震度七の能登半島地震が発生し、南砺市でも最大震度五強を観測しました。このこともあり、地域の皆さまも積極的に防災訓練に参加していただきました。

各集落の公民館への防災訓練参加者は二百七十五名、その中から六十名余りの地区の皆さまに交流センターでの防災訓練に参加いただき、避難手順や避難所で使用する段ボールベッドや簡易トイレの設定手順の再確認ができたのではないかと思います。昨年、避難所開設の手順をマニュアル化するという振り返りを活かして、メンバーが少人数でも初期の対応ができるようにして訓練に挑み、避難所開設に関してはスムーズに進んでいたと感じております。

また、今回の防災訓練の振り返りにより、各地域から専任化した防災担当者を選出していただき、より災害に対し「共助が強い」地区にしたいとの意見が出ておりましたので、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。



三世代交流サロン「さつまいも掘り」

南山見社会福祉協議会サロン担当 直江 喜美代



10月14日(月)、今年は秋晴れで絶好のさつまいも掘り日和でした。9時からの受付に続々と子供たちと保護者の皆さんがサロン会館へ集合され、10家族33名、サロン関係者40名、合計73名の参加者でした。地区社会福祉協議会長の挨拶のあと菜園へ移動、手袋・長靴を履いて準備OK。「とったぞ!!」、「でかいぞ!!」などの歓声があがり盛り上がりました。

掘り終わったので会館へ戻り、まず前川幸雄さんの紙芝居で始まり、スマイル射的・フリスビー・ビンゴ・ボードゲーム・フリースタイル輪投げセット・黒ひげ危機一髪などのゲームで遊びました。最後の締めは、家族単位で遊ぶ「新聞紙でワン、ツウ、スリー」。家族ごとに1枚の新聞紙を引っ張り合って、ちぎれた面積の一番多い人、一番小さい人、一人ずつステージにあがってもらって、10組の中でそれぞれのチャンピオンを参加者の拍手で決定しました。

すごく楽しい半日をすごしていただいたと、スタッフ一同安堵するとともに、参加していただいた皆さんに感謝しています。



栄えある受賞 おめでとうございます!

◇厚生労働大臣表彰
双葉グループ



多年にわたり、ボランティア活動の実践を通じて、共に支えあう地域社会づくりに貢献された功績により受賞されました。



春になってチューリップが 咲くのを楽しみに



花と緑の銀行 頭取 田中一昭

昨年6月、児童クラブの子供たちと一緒に、交流センター前庭のプランターに植えた、ペゴニアやマリーゴールド・日日草は、秋になってきれいな花を咲かせていました。しかし、チューリップの球根が届いたので、残念ながら10月31日(木)に花と緑の銀行のグリーンキーパーで、花の抜き取りと床土の整備作業を行い、球根植えの準備をしました。



11月4日(月)は、天候にも恵まれ、児童クラブの子供たちと一緒に、7種類の球根をプランターにきれいに並べました。「球根2個分程深く植えて球根が見えないようにすること」「土をしっかりと押さえること」に気を付けて植えました。子供たちは親御さんと一緒にシャベルや手でてきぱきと作業をし、15分程で終了しました。

雪が解け、春には色とりどりのチューリップの花が咲き誇ることでしょう。今から楽しみです。



花壇づくり・文化祭展示作品作り

児童クラブ会長 瀧田龍也

児童クラブでは、昨年11月4日、花壇づくりと文化祭展示作品作りを南山見交流センターで行いました。好天にめぐまれ、全学年で花と緑の銀行グリーンキーパーの方々に教えてもらい、春にかわいらしく咲くのを期待してチューリップの球根を植えました。

その後、和室に移動して文化祭展示作品として「落ち葉でアート」に取り組みました。講師の先生が持ってきてくださった、たくさんの落ち葉や木の実を画用紙に貼り付けて、思い思いの絵を描いたり落ち葉を様々な物に見立てたりして、楽しみながら「落ち葉でアート」に取り組むことが出来ました。



クラブ・セミナー・ 教室紹介コーナー その3

木曜ビーチボールクラブ

会員 澤田為次

ビーチボールクラブは、毎週木曜日の夜8時頃より10時まで、その日集まったメンバーで、男女混合チームを作り、試合形式で練習しています。

参加する人の経験は様々ですが、時には初めての方も参加されます。また、他の地区から参加している人もいますし、中には市体や県体に出場する人も混じっています。日頃の運動不足解消や筋力の維持、気分転換やストレスの発散と、目的は人それぞれです。

軟らかいボールは、時に予想に反した動きをすることもありますが、強く当たってもバレーボールのように痛くないし、その変わった動きが面白いのかも知れません。元来球技を苦手とする私でもやっているのですから、初めての人でもすぐに馴れると思います。

体と運動靴さえあれば、いつでも参加自由ですので、皆様お気軽にご参加ください。運動後の爽快感ってやつを味わってみませんか？



二十歳をお迎える皆さんおめでとうございます。



一月十二日(日)、井波総合文化センターにおいて、「南砺市二十歳の集い」が行われました。今年はいんフルエンザの感染の広がりが心配されましたが、好天にも恵まれ通常開催となりました。

南山見地区からは七名の方が出席し、旧友との再会を喜び合い、大人の自覚と社会人としての心構えを新たにしていきました。

式典では、田中南砺市長のビデオによる式辞、才川市議会議員の祝辞の後、代表への記念品目録の贈呈、代表の謝辞、最後に中川教育委員の挨拶がありました。

式典に引き続き、実行委員メンバーが編集した小中学校時代の「思い出のスライド」の上映、小学校・中学校時代の恩師からの当時の懐かしい話に、会場は盛り上がりつつありました。

記念撮影の後、当地域づくり協議会から、ささやかではあります記念品をお贈りしました。皆さんには、これから前途多難な人生が待ち受けていると思えますが、明るい未来を築かれることを願っております。

(事務局)

二十歳の抱負



村松 桃葉

今年、人生の大きな節目である、二十歳を迎えられたことを大変嬉しく思います。同時に、共に成長してきた友人、温かく見守ってくださった地域の方々、そして何より、二十年間たくさんさんの愛情を注ぎ育ててくれた両親と家族に感謝しています。

私は現在、県外の大学に通っています。この大学への進学は、私の進路実現へのステップであり、大きな成長につながると思っています。しかし、ここに至るまでの道のりは簡単なものではなく、浪人経験は大きな転機でした。

一年間の浪人生活、毎日勉強に励む日々、時には挫折感や不安に襲われることもありましたが、そんな中、私を最後まで支えてくれたのは両親です。私の選択を尊重し、目標を追求するための時間を与えてくれたことに、心から感謝しています。

今後は、この環境に身を置いていることを当たり前と思わず、生活、学びの場や周囲の人々への感謝を絶やさないようにしたいと思います。自分の目標に向かって努力し、謙虚な姿勢で日々前進していきたいです。

行事予定

- 2月9日(日) 第36回 南山見地区「三世代交流の集い」(大雪で中止)
- 2月14日(金) 「八乙女講座②」
「旧庁舎の利活用を考える」
新区長会議・新町内会長会議

南山見人口

男	416名 (429名)
女	454名 (470名)
計	870名 (899名)
世帯数	259戸 (265戸)

令和6年12月31日現在
()は昨年度 住民基本台帳より
人口は、マーシンの54名を含みます。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いします。

今年、昭和百年、昭和生まれの私も平成・令和と三つの元号を生きてきました。生活環境の変化に追いついていくのが大変な百年でした。今年は大雪になると長期予報が発表されましたが、年が明ければ暖かい日が続いています。季節の風物詩「左義長」も昔は雪を踏み固め、青竹を立てて、夕飯の後、暗闇の中で点火していましたが、少子化・人口減少で、日程は町内会毎の都合の良い日、点火も日の高い明るい時と様変わりしています。

時代の波と言えばそれまでですが、地域コミュニティだけは永遠に残していきたいですね。

